

# 聴覚障害児児童クラブきらきら

公表用

## 児童発達支援自己評価表

2021

	チェック項目	自己評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか（コロナ対策で他施設の利用も含む）	△	引っ越しをして以前より活動室は広くなりました。コロナ対策として他施設や公園を活用するなど工夫しています。（引っ越し以前より法律上の基準は満たしております）
	② 職員の配置数は適切であるか	△	常に法律上の設置基準を超える人員を配置しています。その時の状況（人数・年齢・内容）によっては安全に活動できるよう人員調整をするよう努めています。
	③ 事業所内は、視覚情報を充実させているか（情報のバリアフリー）	○	聴覚障害児にとってのバリアーをなくすため（視覚活用を促すよう）、玄関チャイムはライトで知らせる、共有事項は文字やイラストで掲示する、見渡せる配置にするなど工夫をしています。今後「情報バリアフリー」という概念の周知に努めてまいります。
業務改善	④ 業務改善のための目標設定と振り返りに、職員が参画しているか	○	
	⑤ 保護者等の意向（保護者等向け評価表）等を把握し、業務改善につなげているか	○	
	⑥ この自己評価の結果を公開しているか	○	ホームページにて公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を業務改善につなげているか	×	第三者評価につきましては現在検討中です。
	⑧ 職員の研修の機会を確保しているか	○	コロナ禍のため制限はありましたが施設内で研修を実施することができました。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、支援計画を作成しているか	○	
	⑩ 児童発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	
	⑪ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	
	⑫ 活動内容の計画をチームで行っているか	○	
	⑬ 活動内容が固定化しないよう工夫しているか	○	コロナ禍のため制限はありますが、可能な範囲で工夫をしています。
	⑭ 個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	
	⑮ 支援開始前に打合せをしているか	○	全員で前日の引継ぎや当日の内容について打ち合わせをしています。
	⑯ 支援終了後に支援の振り返りを行っているか	△	送迎等もあり全員で行うことは難しいですが、メモを残したり翌日報告するなどして補えるよう努めています。
	⑰ 日々の支援の記録を正しくとり、支援の検証・改善につなげているか	○	記録はできるだけ翌日までに記入するよう努めています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行っているか	○	

# 聴覚障害児児童クラブきらきら

公表用

## 児童発達支援自己評価表

2021

	チェック項目	自己評価	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑱ サービス担当者会議にふさわしい者が参画しているか	○	
	⑳ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関等と連携した支援を行っているか	○	大学の先生（専門家）と連携しています。
	㉑ 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○	関係機関の会議に参加する他、送迎時にも当日の体調などは情報共有しています。
	㉒ 児童発達支援センター等の専門機関から助言や研修を受けているか	○	大学の先生（専門家）から助言をいただいています。
	㉓ 保育園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	—	コロナ禍のため中止
	㉔ 保護者と、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	モニタリング、担当者会議、連絡ノート、送迎時などに保護者と話をしています。
保護者への説明責任等	⑤ 「児童発達支援計画」等を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	
	⑯ 保護者へ運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に説明を行っています。
	⑰ 保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	
	⑳ 父母の会の活動を支援したりして、保護者同士の連携を支援しているか	○	法人の自主事業として手話教室や相談会等を実施し、保護者同士の集まる場を企画しています。
	㉑ 苦情受付体制を整備し、苦情があった場合に適切に対応しているか	△	苦情受付については契約時に説明していますが、その後も随時周知に努めます。
	㉒ 定期的に会報等を発行し、情報を発信しているか	○	ご利用の皆さまには月に1度「おたより」で活動内容をお伝えする他、ホームページにて活動の様子を発信しています。
	㉓ 個人情報に十分注意しているか	○	
	㉔ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	手話や筆談、イラスト、身振りなど、お子さんに合った方法を用いています。更に工夫を重ねてまいります。
	㉕ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	△	コロナ禍のため積極的なボランティアの受け入れはできませんでしたが、県内の聴覚障害や手話の関係団体の広報誌に記事を掲載していただきました。
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	△	策定はしていますが、特に保護者への周知が十分ではありませんでした（おたよりにて周知）。今後工夫していきます。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に訓練を行っているか	○	避難訓練を怖いと感じるお子さんもいるので、今後は更に内容を工夫して参りたいと思います。
	㉒ 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	△	病気や身体の状況は確認していますが、予防接種については漏れていましたので今後は確認します。
	㉓ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	
	㉔ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	